

園だより

2月号

一般財団法人 こども財団
リーゴ京命保育園
園長 菅野 里美

お正月休みが終わり、あっという間に2月。先日の大寒波で保育園にも雪が積もり、銀世界でキラキラと輝いていました。子どもたちは珍しい雪で遊ぶことができ、大喜びでしたが暦の上では春を迎えます。きくぐみさんがらんぐみに進級する期待を込めて、植えたチューリップの球根からも芽が飛び出してきました♪まだまだ、感染症に対して油断大敵ですが、予防に気を配りながら、元気に楽しみたいと思っております♪



☆2月の予定☆

3日(火) 豆まき
4日(水) よいこのつどい(らんぐみ)
9日(月) 避難訓練
10日(火) 年長児プロジェクト(らんぐみ)
12日(木) すもも・ももクラス懇談会
16日(月)～ 身体測定
17日(火) 保育まつり(らんぐみ)
20日(金) 救急対応訓練
24日(火) 小学校見学(らんぐみ)
26日(木) らんぐみクラス懇談会



☆今月の様子☆

いないいない
いばあっ!



つめた～いっ!

ゆきだるま♡



かたつむりみつけたよ♪



らんぐみ会議中☆



☆甘やかしと甘えさせの違いについて☆

“甘やかし”とは安易にお金や物で代償しようとしたり、親の都合で過度に手を出しすぎてしまうことです。子どもは辛いことがあったり、悲しんでいるとき、困っているときなど、心が動揺し、隙間ができて、不安になります。その隙間を埋める為には、大好きな大人に抱きしめてもらったり、気持ちを理解してもらおうと安心できます。その安心感を充電させるのが“甘えさせ”です。

“甘やかし”と“甘えさせ”が混同してしまうと子どもが心の安定基地として大人を求めているのに、お金や物を与えて大人が安心してしまうという間違いに繋がります。甘えさせてもらえる人がいるからこそ、子どもは自立できるようになりますよ。

食育だより

2月号

🔍うめ・さくら組 子供用包丁でお野菜を切ってみました🔍

こどもたちは、おままごとが大好き！調理室にもよく見に来てくれます。
今回は、給食のお手伝いできゅうりの酢の物につかう、きゅうり・人参・ちくわを子供用包丁を使って切ってみました。
プラスチック製包丁で手を怪我しにくく、刃先に指をあててみましたがもちろん切れず痛くもないです。写真を見てもらうとわかりますがみんなとても集中して細かく切っています。
まだ3歳だから包丁は危ないという意見もあるかもしれませんが、包丁の持ち方・切り方を丁寧に伝えることで安全に使用でき、飽きることなく切ることができました。
にんじんや大根など少し固い野菜は、切りやすい大きさに切ってあげるとこどもたちが考えて切ってくれます。
自分たちが手伝って出来上がった給食を提供すると完食して戻ってきます。
嫌いな野菜でも食べられるようになるのはすごいですよね。



♪お知らせ♪ 調理室に【今日の献立三色食品群】を掲示しています。

こどもたちに、食べ物にもっと興味をもってもらえたらと思い掲示しています。
『今日の給食には何が入っているのかな？』
らん組さんになると
『三色食品群はなあに？』
『お肉を食べると体が大きくなるだね』
『野菜をたべると病気をしないためにばい菌から体を守るんだよ』と話をしています。
お家でもぜひ、毎日の食事食べ物に何色の力があるかな？と食べ物のお話してみるのもいいのではないのでしょうか

